



京都大学

第16回

市民防災講座 - 災害リスクを考える -

豪雨・土砂災害に備える

参加無料

【日 時】 2018年7月20日 (金) 14:00~17:15

【場 所】 ホテルグランヴィア広島 悠久 (4F)

司 会 京都大学大学院 工学研究科 准教授 伊豫部 勉

J R広島駅 新幹線口前

主催者挨拶

京都大学大学院 工学研究科

教 授 杉山 友康

講 演

●ゲリラ豪雨と線状降水帯の予兆を捉える

京都大学 防災研究所

准教授 山口 弘誠

●土石流のしくみと被害

鳥取大学大学院 工学研究科

准教授 中村 公一

●災害時に備えて - 防災対応能力の向上 -

香川大学 創造工学部 創造工学科

教 授 井面 仁志

事例紹介

●8.20広島市土砂災害を踏まえた広島県の取り組み

広島県 危機管理監 危機管理課

防災担当監 山本 雅治

●平成28年梅雨期豪雨災害概況と復旧

- JR西日本の降雨災害に対する取り組み -

西日本旅客鉄道株式会社 広島支社

副支社長 中野 浩之

※講演者及び講演内容が変更となる場合があります。



8.20広島市土砂災害
(広島市安佐北区)



8.20広島市土砂災害
(広島市安佐南区)

資料提供: 広島県砂防課

【定 員】 200名 (先着順・要事前申込)

【申込方法】 参加希望の方は、下記URL, FacebookもしくはQRコードよりホームページにアクセスして登録していただくか、必要事項を記載のうえメールまたはFAX (裏面参照) でお申込ください。

必要事項 ①代表者氏名 ②電話番号 ③住所

④職業 (会社員(会社名) / 公務員 / 学生 / その他)

⑤記事欄 (2名以上同時にお申込される場合、代表者以外の氏名, その他要望事項)

※参加申込でいただいた個人情報は、当市民防災講座の運営及び当講座からのお知らせ以外の目的には使用しません。

ホームページURL <<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/lab/>>

メール: info@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp FAX:075-383-3410

Facebook: 京都大学 災害リスクマネジメント工学-JR西日本-講座

【申込締切】 7月17日 (火)

【問合せ先】 京都大学災害リスクマネジメント工学 (JR西日本) 講座

TEL: 075-383-3114 (平日 10時~17時)



主催: 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学 (JR西日本) 講座

後援: 国土交通省中国地方整備局/広島県/広島市/公益社団法人地盤工学会中国支部/

公益社団法人土木学会中国支部/中国地方鉄道協会/中国新聞社

協賛: 西日本旅客鉄道株式会社



京都大学第 16 回市民防災講座

— 災害リスクを考える — 7月20日(金)

京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座では、JR西日本からの寄附により、自然災害に対する鉄道や道路などの社会基盤設備の総合的管理技術、交通規制といったソフト対策技術の研究を進めています。あわせて市民の皆様の防災に対する意識の向上と、避難時の行動や住民同士の協力の重要性を理解していただくことを目的に市民防災講座を企画しました。

講演

●ゲリラ豪雨と線状降水帯の予兆を捉える

京都大学 防災研究所

准教授 山口 弘誠

豪雨災害を防ぐためには、事前の兆候(予兆)をいち早くかつ正確に捉えることが有意義です。偏波レーダーを含む最新の気象観測や、数値予測モデル開発を紹介し、近未来の実用化を目指したゲリラ豪雨および線状降水帯の予測研究の最前線について紹介します。

●土石流のしくみと被害

鳥取大学大学院 工学研究科

准教授 中村 公一

土砂災害にはいくつかの種類がありますが、そのなかでも土石流は大災害となることが多くあります。土石流の動画を用いて土石流のしくみについて説明し危険性を認識することで、防災意識の向上に役立ててもらいたいと思います。

●災害時に備えて—防災対応能力の向上—

香川大学 創造工学部 創造工学科

教授 井面 仁志

自然災害並びに人為災害が巨大化、多様化、複雑化し被害が広域化・甚大化する事態を受け、今後ますます想定を越える災害に直面する可能性が高くなっています。従って地域の被害を最小限にとどめるためには、個人の防災コンピテンシーの向上が望まれます。そこで、過去の災害時の人の行動特性と災害対応能力訓練システムを用いた、防災対応能力向上訓練の紹介を行います。

豪雨・土砂災害に備える

事例紹介

●8.20広島市土砂災害を踏まえた

広島県の取り組み

広島県 危機管理監 危機管理課

防災担当監 山本 雅治

平成26年8月20日に発生した広島市土砂災害において、災害派遣を実施した自衛隊の立場で本災害の特性について振り返り、8.20後の広島県が取り組んでいる「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」について紹介します。

●平成28年梅雨期豪雨災害概況と復旧

—JR西日本の降雨災害に対する取り組み—
西日本旅客鉄道株式会社 広島支社

副支社長 中野 浩之

平成28年梅雨期の豪雨により、広島支社管内では多くの土砂災害が発生し、鉄道輸送にも多大な影響を与えました。今回はその被災状況と復旧工事の概要、ならびにJR西日本が降雨災害から鉄道を守るために取り組んでいるハード・ソフト対策について紹介します。



会場
ホテルグランヴィア広島

〒732-0822
広島県広島市南区
松原町1-5

(JR広島駅 新幹線口前)

FAX申し込み用	①代表者氏名	(フリガナ) (氏名)	②電話番号	
	③住所	〒 - 都道府県	市区町村	
	④職業	該当する職業を○で囲んでください。 1.会社員 (会社名:) 2.公務員 3.学生 4.その他 ()		
	⑤記事欄	2名以上同時にお申し込みの場合は、こちらに氏名、フリガナ、職業をご記入ください。		

※参加申込でいただいた個人情報は、当市民防災講座の運営及び当講座からのお知らせ以外の目的には使用しません。

FAX : 075-383-3410